

ウェアラブルデバイスを用いた 乳児をもつ女性のストレス反応の調査

研究の参加者としてご協力いただける方を募っております！



研究の概要

私達は現在、産後のお母様のストレス反応を確認するため、アンケート調査だけでなく、時計型のウェアラブルデバイス装着と短期的な自律神経機能を測定し、継続的にその関連を明らかにする研究を行っております。これが明らかになれば、簡便かつ客観的なストレス反応の評価が可能となり、早期からお母様方への支援につなげることができると考えております。どうぞよろしくお願い致します。

対象となる方

- 正期産で18歳以上の初産婦
 - 2回の調査協力が可能
産後5～12週、および産後17～24週
 - ご自宅での生活をされており、自宅訪問が可能
 - ご自宅でWi-Fi接続可能な方
 - 近畿圏内在住の方
(三重県、和歌山県以外の限定地域)
- ※限定地域以外でも近畿圏内であればご検討させていただきます。

対象とならない方

- 仕事へ復帰している
- 基礎疾患あり、薬を常用している
- 1か月健診後も通院が必要な方
- 喫煙している
- お子様は調査時、入院中もしくは体調が良好でない

研究の時期および方法

- ◆ 調査は産後2～3か月と産後5～6か月の期間の2回で、かつ同じご協力内容となります。
- ◆ 1回の調査にご協力いただく期間は約3日間となります(研究者在室は約30～40分)。研究の詳細は下記をご参照ください。

調査内容：

- ①Googleフォームでアンケート調査
約15分間
- ②ウェアラブルデバイス装着 約48時間
- ③ウェアラブルデバイス装着中の活動記録
- ④耳たぶに装着して実施する
自律神経機能測定 約5分間

◆ 倫理的配慮：

- 本研究のご協力は自由意思であり2回目の調査終了までは研究を辞退いただくことが可能です。
- 本研究は京都光華女子大学の研究倫理委員会の承認を経て行います。

本研究は訪問調査時に2回にわたっての3000円のクオカードを謝礼致します。
調査後希望者には個人における調査の結果を郵送致します。

下記のQRコードをお読みください



詳しく知りたい方



説明を聞いてくださる方



研究責任者：京都光華女子大学助産学専攻科
講師 海野多栄子
e-mail: taekomw@mail.koka.ac.jp